

シラカンバ

カバノキ科
カバノキ属
樹高
20～25m

生木を食べる
シロスジカミキリ
(北海道では
少数)



幹に空いた穴は
アカゲラや
モモンガの
巣穴になる



樹液を吸うエルタテハ

四季の観察ポイント

春



雌花
雄花は枝の先に
垂れ下がる

夏



果穂は葉の
わきから
垂れ下がる

秋



葉は黄葉し、果実は茶色く熟す

種子



シラカンバの根には
ベニテングタケが
共生しているため
林内によく発生する

冬



樹皮には黒い
「へ」の字模様が目立つ



リン子の
絵日記
シラカンバ

今日は、
キャンプに
来ています。

おシラカンバの樹皮は
キャンプファイヤーに
使えるな。

カバのなかまの樹皮は
もえやすいから、
たきつけに最適なんだ。

チノイェタツ
柄は
アカカモ

アイヌの人たちは、
シラカンバのなかまの
ウダイカンバの皮を
松明にしたんだよ。

リン子、皮
をむいて。

おあ、

アイヌ民族
北海道に居住する
先住民族。昔は、
物々交換と狩猟採集で
生活した。

ひしゃくのお椀部分にも

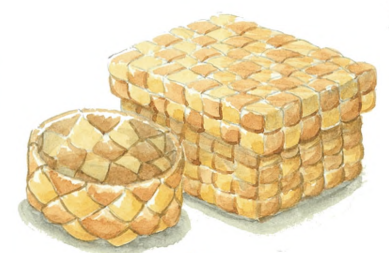
シラカンバの樹皮は、
はだ目が細かくて、加工
しやすいから、細工品に
使われたりもしたんだ。

じゃあ、
そろそろ
たきつけを...

ため、
こんなにきれいに
むけたんだもん!

それ
どうするの...

アイヌ民族とシラカンバ
アイヌ民族も春先にシラカンバの樹液
を採取し、そのまま飲用するほか、お酒
造りにも活用していました。



シラカンバとベニテングタケ
シラカンバは水分を多く含むため、春先
の雪解け前に幹に穴を空けて樹液を集める
ことができます。この樹液はほんのりと甘
く、煮詰めるとシロップになり、健康飲料
水や化粧品にも活用されています。
樹皮は工芸品
や着火剤として
利用される他、
材は木目が美し
く柔らかいこと
から、内装材と
して活用されて
います。

